

西の湖でのアオコの発生について (第1号)

令和4年6月9日(木)10時30分頃、琵琶湖保全再生課の職員が近江八幡市浅小井町付近の西の湖で、今年初めてのアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究所センターがプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでした。

西の湖周辺での今後のアオコ発生状況は原則として、県HP「今日の琵琶湖」において情報提供していく予定です。(滋賀県HP トップページ→Mother Lake 琵琶湖→今日の琵琶湖)

(<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(°C)	構成プランクトン (群体数/ml)
ポケットパーク横 (近江八幡市浅小井町) ※別図参照	6月9日 10時31分	2m× 4m	4	26.9	ミロキスティス属 3,300 アハバ属 15,000 アアノゾメノ属 220 オシロリア属 920

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



西の湖で確認されたアオコ